



会津の再生・発展に、首長の経験を活かす。

平成23年3月11日の東日本大震災当時、私は会津若松市長として地震被害復旧への対応、大熊町をはじめ原発事故による多くの被災者の受け入れなどに全力で取り組んでまいりました。これからも継続して原発事故の早期収束や除染、深刻な風評被害の払拭、長期避難者への対策など福島県の再生・復興へ全力で取り組む所存であります。また3期12年にわたる地方自治体の長としての経験を最大限に活かし、地方分権に取り組んでまいります。

会津地域は深刻な過疎化・少子化・高齢化に直面しており、集落の存続の危機、いわゆる限界集落の課題が深刻です。私は首都圏への一極集中の流れを変えなければならないと考えます。地方に光を当てなければなりません。生まれ育った故郷で親・兄弟姉妹といっしょに生活できる、そんな当たり前の社会が実現できますよう本気で取り組んでまいります。

政権政党である自由民主党の国会議員として、市長の経験を活かし、国を動かし、国民の生活を守り、日本国発展のために全力で取り組む所存であります。安保法案はいかなる有事の際にも国民の命を守るために、戦争を起こさない抑止力を目的とする法案であります。これからも丁寧な説明をしていくとともに、国民の皆さまが安全、安心して暮らせるよう全力で取り組んでまいります。

私は会津人として絶対平和主義を貫いてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻、そして力強いご支持、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

衆議院議員 菅家一郎



平和安全法制について

周辺諸国の脅威が強まり、世界情勢や時代の急激な変化の中、わが国の安全を確保するとともに世界平和の安定に貢献し、日本が孤立することなく国際連携による平和維持活動を自衛隊が安全に行う法整備として、9月18日に参院本会議で「平和安全法制」が可決成立しました。

しかし、国内はもとより地元会津においても皆さまの十分なご理解を得ている言い難い状況でした。そこで私は地元の自民党国会議員として説明責任を果たすべく、8月23日に会津若松市内で前防衛大臣、小野寺五典先生を、また10月10日には喜多方市においてヒゲの隊長で知られる参院議員佐藤正久先生をお招きしての講演会を開催しました。私からも質疑形式でわかりやすくご説明いたします。

- Q 「戦争法」は反対!戦争しなくても参加すれば戦争と同じではないか。
- A 「戦争法」は無責任なレッテル貼り。むしろ戦争を防ぐための法制です。以前、P KO法制定の時も「戦争法」との批判がありましたが、現在は多くの方

が「戦争法」だとは思っていません。またわが国は専守防衛ですので、他国に行って武力行使をすることは決してありません。集団的自衛権はわが国の存立と国民の命と平和な暮らしを守るために行使するもので、しかも「新三要件」の厳格な歯止め、国会の承認などの条件が付けられています。

- Q 徴兵制になって子供や孫たちが戦地に行かされるのではないか。
- A 憲法第18条は「意に反する苦役」を禁止していますので、徴兵は明らかにあり得ません。自衛隊はハイテク装備のプロ集団で徴兵の必要はありません。世界的にも徴兵制は減少しており、先進7カ国(G7)の中で徴兵制を採用している国はありません。
- Q 強行採決のような決め方は良くないのではないか。
- A 短時間の審議で打ち切り採決をしたわけではありません。過去最長の95日間の国会延長とP KO法などを上回る116時間もの審議を重ねてきました。衆議院の時間配分は「与党1:野党9」の割合で野党の審議時間を十分に確保しました。私も皆さまの理解が深まるよう全力を尽くしてまいります。

『イチロー・タイムズ』発刊に寄せて

かんげ一郎連合後援会では、これまで『イチローかわら版』として随時発行してまいりましたが、このたび題字を『イチロー・タイムズ』に変え、装いを新たにいたしました。紙面ではかんげ一郎の国会活動や政治行動などを分かりやすくお知らせするとともに、会津地域の皆さまとの交流の場にもなれるようなスペースも設けました。かんげ一郎を何でも相談のできる、親しみやすい身近な存在として皆さまに思っていただけなら幸いです。



講演会の模様

小野寺前防衛大臣の講演会を開催

2015年8月23日に、小野寺五典前防衛大臣をお招きして「平和安全法制って、一体どのような法案なの?」という基礎的な内容から「本当に戦争勃発に結びつく法律なの?」といった点に関して深く説明をしていただきました。小野寺先生が丁寧に説明をされたことで、「決して戦争法案ではなく、国民の命を守る法案であり、防衛のための法案である」ことを皆さまにお伝えできたのではないかと感じています。



出席者
衆議院議員 菅家一郎〔下中〕
竹内祐子さん(68歳)〔下左〕
渡部 彩さん(25歳)〔下右〕
渡邊みゆきさん(48歳)〔上左〕
馬場裕子さん(54歳)〔上中〕
森谷真理さん(47歳)〔上右〕
コーディネーター/
岡田友子さん(岡田プランニング)

座談会 第2部「女性と語る」

安倍内閣アベノミクスの新たな「3本の矢」の一つに「夢を紡ぐ子育て支援」が上げられています。これまでもかんげ一郎は女性が生き生きとして活躍できる社会を作りたいと訴えてきました。会津に住む女性にとって女性がハツラツと輝いて活躍するにはどうすればいいのか、どのような課題があるのか、を率直に聞いてみました。

菅家代議士の意外な顔

はじめに、岡田さんから国会議員の役割や日頃の行動を聞かれた菅家代議士は「国会議員は国民の考えや要望を代弁して国政に反映させるのが仕事。月曜日から金曜日は東京で、週末は会津に戻ります。東京では赤坂の議員宿舎で秘書をしている長男と住んでいます。掃除からゴミ出しまでやります。毎日朝8時から会議や勉強会があります。そのための資料調べなど大学時代より勉強している感じですね」と意外に家庭的な一面を見せました。

会津で生活している中で、感じている点を示してもらったところ、森谷さんは「会津は人情味があるところが好き」と言いながらも、娯楽施設が少ない点を挙げました。一同が指摘したのは映画館が一軒もない点です。渡部さんは郡山や新潟に行って買物をしてしまうとデパートや専門店のないことを嘆いていました。これに対して菅家代議士は「中心市街地の活性化が課題。国の支援で神明通りのアーケード建て替え工事が進められているが、もっと魅力ある街中になるように全力で取り組む」と語りました。

人口減少と高齢化社会への対策は

渡部さんからは保育園の充実と出産に伴う給付金の支給といった意見が出されました。渡邊さんは放課後の学校を開放して育児クラブをもっと充実してほしいと要望しました。子供たち同士で学び合い、支援員の方の指導で挨拶といった人間関係を学ぶことができるからだそうです。馬場さんはベンチャー企業を目指す若い人に期待していました。まちなか周遊バス「ハイカラさん」の路線にゴミや雑草が目立っているのが残念で、少しでもボランティアで清掃活動をしていきたいといった竹内さんの発言もありました。

これからの会津地域の復興に関して、会津は東日本大震災の直接の被災地ではないということで、5年で復興予算を打ち切るといわれてきましたが、菅家代議士は会津は風評被害による被災地であると訴え、来年からも国の財政支援を受けることができました、と実績を語りました。18歳以上の選挙権については、出席者一同、投票率が50.24%という低さだった今回の会津若松市議選の例を挙げて、懸念を示しました。

座談会を終えるにあたり、菅家代議士は「皆さんもぜひ政治に興味をもっていただきたい。何ごとにおいても判断するには興味をもつことと的確な情報を得ることが必要です。ぜひ私のホームページやブログをぜひご覧になって下さい」と語り、皆さんの生の声を聞くことができたとても参考になった、国会議員として会津地域の皆さんの生活をどう守っていくかが大きなテーマで責任がある、と覚悟の決意を述べました。

地区の皆さんとひざを交えて対話集会

かんげ一郎は皆さんの地区に向いて、約2時間程度の対話集会を行っています。人数制限はありません。集会では車座になってお一人おひとりのご意見をお聞きし、それにお答えしております。地区町内の問題を中心に国の政策など幅広く承っております。地区の課題解消につなげたいと対話集会をご希望の方は下記までご連絡下さい。



【お問合せ先】かんげ一郎事務所
〒965-0872 会津若松市東栄町5-19 ☎(0242) 27-9439

かんげ一郎は皆さんの声に耳を傾け、国や地方の政策に反映していきます。



出席者
衆議院議員 菅家一郎〔下中〕
吉川侑希さん(鹿島高1年)〔下左〕
大竹夏々恵さん(ザペリオ学園高1年)〔下右〕
馬場佑果さん(大沼高1年)〔上左〕
松本江里加さん(湖南高1年)〔上左中〕
村崎芳実さん(会津学鳳高3年)〔上右中〕
加藤顕治さん(会津第二高)〔上右〕
コーディネーター/
岡田友子さん(岡田プランニング)

座談会 第1部「高校生と語る」

6月に成立した改正公選法により選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられ、来年の参議院選挙から適用されます。来年あるいは将来、有権者となる高校生6名の皆さんに集ってもらい、率直な意見をお聞きしました。

歴史があり、災害が少ない会津が好き

座談会では皆さんから菅家代議士の第一印象を聞きましたが、会ってみると気さくでやさしい感じがしたという声が多かったです。吉川さんと松本さんから自然災害が少ない、食べ物が美味しい、歴史が残っている点が会津の好きなど、反対に不満な点は遊ぶところが少ない、映画館がない、商店街がさびしいといった感想が聞かれました。加藤さんからはよそから大勢の人を呼ぶためにも、会津に新幹線がほしいといった意見が出ましたが、菅家代議士は若い人には大きな夢を持ってほしいと、会津縦貫道路など高速ネットワークの必要性にふれました。また会津地域の発展、活性化を図るために、斬新なアイデアを出して、その計画が国の支援を得られるよう全力を尽くす力強く話しました。



18歳からの選挙権は大賛成

出席者全員が18歳から投票できるのを楽しみにしている様子。大竹さんのように仲良く晩酌をしている両親を羨ましいという人もいましたが、20歳未満の飲酒や喫煙には反対でした。吉川さんは若い世代の意見を政治に反映したいと期待しています。菅家代議士は投票率の低下が心配だとして、若い時から政治に関心をもって、何が真実かを考える習慣を身に付けてほしいと皆さんに伝えました。馬場さんや村崎さんからは地域のお年寄りの足になっている会津川口～只見間が運休のJR只見線が気になるという意見が出されました。最後に、菅家代議士が若い皆さんと話し合っただけでもよかった、皆さんが会津で大きな夢を描くことができるようにがんばると述べ、座談会を終えました。



菅家一郎の公式ホームページが
できました!!

菅家一郎 検索



日々の活動
▼
ブログ
<http://www.election.ne.jp/kanke/>

動画や詳しい資料
▼
公式ホームページ
<http://kanke-ichiro.jp/>